

美樂舎

B i G a K u S Y a
Newsletter

No. 311

会報 第311号(平成29年9月発行)

東京都中央区銀座1-13-4 大和銀座ビル6F
K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004

Mail kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP <http://bigakusya.com>

第335回(8月)例会

日影眩氏 講演

「アメリカアート事情と日本人作家達」

2017年8月27日(日)

参加者：会員他20余名

会場：ACT



【幹事報告 片岡靖雄】

今年のクローゼング講演は、投射プロジェクター不調や録音ICまで不良で、記録・記憶まで欠落していますこと幹事としてお詫び申し上げます、

○まえがき

今回の日影眩氏的美樂舎講演に当たり、彼の著書「360度のニューヨーク」を読み直し日本でクリエイティブ(アメリカで通用する)と言えるほどのものは漫画・劇画の世界にしかない」と断言されていたことを改めて思い浮かべた。

即ち草間弥生であり、村上隆や奈良美智はまさにこのラインに沿うアーティストであると思います。

日影眩氏のコメントより

○昨日、コレクターの会、美樂舎の「コレクション展」最終日に2000年に続いてレクチャーをさせて頂きましたが、コンピューターがプロジェクターに繋がらず、私の小さいiPadでパワーポイントの写真をお見せすることになり、その上要領を得ない説明になったかもしれませんが、私が昔のパンツの見える作品をお見せしたこともあり、ニューヨークアートの現況が私の目を通した偏ったものではないかと思われた可能性なしとしないので、今朝のFB、ケニー・シャクターさんの投稿を見たら、このチャールズ・レイの彫刻だったので、ニューヨークのアートがいかに東京と違っているか、私のレクチャーがいかに偏ってないか、証明するのに、ぴったりなので、これをシェアします。チャールズ・レイ「オー、チャーリー、チャーリー、チャーリー 1992、ミクストメディア」。私は彼の彫刻数点をホイットニーミュージアムで見ている。バイエニアルだったかもしれない。若い男たちが全裸でグループ遊